

分野	看護の統合と実践 －在宅看護論－	対象学年	2
		時期	前期～後期
授業科目	在宅看護実践論Ⅰ Home Care Nursing PracticeⅠ	単位	2
		時間	30
		方法	講義
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	担当者複数の場合は、担当教員一覧にて確認		
授業概要	在宅で療養する人と家族の健康上の問題と生活上の問題を理解し、在宅看護の機能と役割を学ぶ。		
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 施設から在宅に向けての看護の視点を理解する。 2. 在宅療養にむけての療養者とその家族の不安を理解する。 3. 退院に向けての支援と調整について理解する。 4. 在宅における様々な対象について理解する。(認知症療養者、長期臥床療養者、精神障害による療養者) 5. 在宅における様々な対象について理解する。(難病療養者、在宅療養児) 6. 在宅における様々な対象を理解する。(終末期の療養者) 7. 在宅におけるフィジカルアセスメントを理解する。 8. 在宅療養生活を理解する。 9. 在宅看護において大切な視点を理解する。 10. 在宅における問題解決方法の特徴を理解する。 11. 在宅看護における看護過程が展開する。 12. 在宅療養生活を支える法律を理解する。 13. 在宅看護における面接技術を理解する。 14. 在宅看護における面接技術の実際を体験する。 		
評価方法	終講試験 100点		
使用テキスト	ナーシンググラフィカ 地域療養を支えるケア 石田千絵他編 メディカ出版 ナーシンググラフィカ 在宅療養を支える技術 石田千絵他編 メディカ出版		
参考図書	「わかりやすい介護保険」パンフレット		
メッセージ	地域で生活する療養者を意識して、課題やグループワークに取り組んでください。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	在宅看護における問題解決技術	在宅看護における問題解決方法の特徴が理解できる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 訪問看護における看護過程の特徴：場の違い、意思決定プロセス、家族の能力・介護力、社会資源の活用 2. アセスメントの視点 <ol style="list-style-type: none"> ①情報収集 ②アセスメント ③計画立案 ④実施 ⑤評価 	Gw	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前に事例を提示し、希望を取り、各自が計画を立案する課題を出す。 ・事例ごとにG分けをする ・事前に課題を評価する
2		考え方をを用いて看護過程が展開できる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅ケアプランの立案 事例をもとにグループで計画を立案する 2. 家庭訪問・初回訪問 訪問時の留意点、マナー、訪問終了後の行動の理解 	講義 GW	<ul style="list-style-type: none"> ・個人課題を返却しGWを行う ・次回模擬訪問のロールプレイを行うため、訪問時の行動を確認する

3	在宅における 面接・訪問技術	在宅における面接・訪問における 技術が体験できる	1.模擬面接 2.面接評価 評価の視点 ①マナー ②説明方法・理解度の確認 ③療養者・家族の自律尊重 ④家族力・介護力 ⑤社会資源の活用 3.まとめ	演習	<ul style="list-style-type: none"> ・2 時限続けて設定する ・2 回目から2～3 週間後に行かない、準備をする ・評価表を提示し利用者・看護者側に分かれて模擬面接を行う ・評価表をもとに説明しながらまとめる
4					
5	継続看護	病院から在宅に向けての看護の視点を理解できる	1.継続看護 2.病院と在宅との継続看護	講義	
6	在宅療養にむけての対象の不安	在宅療養にむけての療養者とその家族の不安を理解できる	1.在宅療養への不安 2.病棟看護師としての退院指導の視点 3.退院に向けての指導	講義	
7	退院調整・退院支援の実際	退院に向けての支援と調整の実際を理解できる	1.退院支援とは 2.退院調整とは 3.退院調整看護師とその役割 4.退院支援・退院調整における連携	講義	退院調整 看護師
8	在宅看護における様々な対象	認知症療養者、長期臥床療養者の看護および精神障害による療養者について理解できる	1.在宅看護における様々な対象 ①認知症療養者の看護 ②長期臥床療養者の看護 ③精神障害による療養者	講義	
9		難病療養者の看護および在宅療養児の看護を理解できる	1.在宅看護における様々な対象 ①難病療養者の看護 ②在宅療養児の看護	講義	
10		終末期の療養者の看護を理解できる	1.在宅看護における様々な対象 ①終末期の療養者の看護	講義	
11	在宅における フィジカルアセスメント	在宅におけるフィジカルアセスメントを理解できる	在宅におけるフィジカルアセスメント ①バイタルサインを評価 ②腹部の聴診：腸蠕動音を評価 ③胸部の聴診：酸素の供給状態の評価 ④「今から次回訪問まで」アセスメント	講義 GW	

12	在宅療養生活を支える法律	在宅療養生活を支える法律を理解できる	在宅療養生活者を支える法律 (事例を通して)	講義	訪問看護師
13	在宅療養生活の理解	在宅療養生活を理解できる	在宅療養者の生活 事例から「生活の全体図」をまとめる	講義 GW	在宅看護論実習の記録を活用し「生活の全体図」を書く。生活のなかで気になることから原因や誘引となることを考える。老年看護学と共通の事例を用いて考える。
14		在宅療養生活における大切な視点を理解できる	1.在宅看護で大切にしたい視点 ①療養者の思い 人生観、生きがい等 ②介護者の思い、介護者の健康状態 ③日常生活の自立度 ④生活環境 ⑤疾患、障害の状況 ⑥利用している社会資源	講義 GW	
15			終講試験		